

テーマ	総合原価計算（連産品）								
学籍番号									氏名

1. 当工場では、材料 X を投入して連産品 A、B、C を生産している。次の資料に基づき、市価法によって各連産品に配賦される連結原価をそれぞれ計算しなさい。

【資料】

- ① 当工場では第 1 工程の始点で材料 X を投入し、第 1 工程の終点で連産品 A、B、C が分離される。そのうち連産品 A 及び B はそのまま製品 A 及び製品 B として売却しているが、連産品 C は第 2 工程で追加加工を施し、製品 D として売却している。
- ② 当月の第 1 工程における完成品量は 3,600kg であり、その内訳は以下のとおりである。なお、月初及び月末に仕掛品はなかった。

連産品 A	1,500kg	連産品 B	1,200kg	連産品 C	900kg
-------	---------	-------	---------	-------	-------

- ③ 当月の第 1 工程における投入原価は以下のとおりであった。

材料費	188,100 円	加工費	164,700 円
-----	-----------	-----	-----------

- ④ 各製品の正常市価および見積分離後加工費は以下のとおりである。

	製品 A	製品 B	製品 D
正 常 市 価	@420 円	@480 円	@840 円
見 積 分 離 後 加 工 費	—	—	198,000 円

	連 結 原 価
連 産 品 A	円
連 産 品 B	円
連 産 品 C	円

授業の感想など	
---------	--